



## にちなん起業体験プログラム開催報告

にちなん起業体験プログラムは、中高生が「起業家」となり、本物のお金を使ってゼロから事業を立ち上げる社会体験プログラムです。事業計画を立て、元手となるお金（出資）を集め、商品を準備して2日間限定で実際の店舗を運営します。日南市内の中高生を対象に希望者を募り、土日を中心に活動します。今年で3年目を迎え、今年度は9名（中学生4名、高校生5名）が参加しました。

### プログラムの流れ



**第1回（8月7日）**  
3つのチームに分かれ、事業のアイデアを話し合い、今後の計画を立てました。



**第4回（10月29日）**  
宮崎市の一歩街で行われた街市に出店し、販売を行いました。



**第2回（9月11日）**  
投資家となる方々に事業計画をプレゼンし、出資を募りました。



**第5回（11月6日）**  
前回の振り返りを行い、課題の洗い出しと戦略の立案を行いました。



**第3回（9月25日）**  
集めたお金を元手に商品の準備をしたり、お店づくり（看板・ポップ）や声のかけ方について学びました。



**第6回（11月26日）**  
1回目の反省を踏まえて、もう一度宮崎市の街市に出店し、販売を行いました。

ショップ名	商品
Emun（えむん）	ハンドメイドのアロマキャンドル
プロゴルファーレモン	日南レモンソーダ、パターゴルフ
Fruit clock	フルーツジャム ※日南振徳高校で製造



**第7回（12月4日）**  
決算を行い、結果を分析して事業報告書にまとめ、出資者の方々に報告と返金をしました。

#### （参加者の声）

- ・チーム全体が何をすべきなのか把握することが大事だなと感じました。自分が持っていないものや考えをメンバーから気付かせられるところもあったのでこれから誰かと何かをやる際には、相手とコミュニケーションをしっかりとっていきたいです。（中学1年生）
- ・1から自分たちで決めて販売する中でチームで意見を出し合うことの難しさを感じました。グループで何かに取り組む時に責任を持って計画的に実行することが大切だということを学んだり、プレゼンで人に伝える説明を意識するきっかけになったので良かったです。（高校1年生）
- ・予想通りにはいかないこと、自分は無知だということを学びました。今後はわからないと思ったことはすぐに調べることを心掛けたいと思います。（高校2年生）
- ・世の中は甘くないということ、世の中にはいろんな人がいるということ、お金を集める大変さを学びました。今後はお金を大切に使い、親に感謝したいと思います。（中学3年生）

# 教えて!コーディネーターの皆さん



稲田

学校の先生がよのなか先生へ講話を依頼するときに、どのような依頼をしたらいいか悩んでいるみたいです。コーディネーターの皆さんは、普段どのようなことに気をつけてよのなか先生に対して依頼をしていますか？



羽田野

私が気をつけているのは、きていただく方に目的を明確にして伝えることです。また、複数名を呼ぶ場合には年代や性別など、できるだけ重ならないように多様な人に触れてもらえるようにしています。



福島

羽田野さんがお話しされたように、目的を明確にすることや多様な人に触れるって大事ですね。私も同じで、先生から「よのなか先生をします。」などWhatの部分から依頼をいただくことが多く、その際に学校にしっかりとヒアリングをして意図を共有してもらい、Whyを明確にしていきます。めんどくさいと思われるかも知れませんが、ここは申し訳ないのですが、端折れないですね。



長友

お二人の意見にとっても共感します。依頼した方の「話したい!」と先生の意図がかけ離れることがないように気をつけています。私は先生方と出来るだけ時間をかけて意図を汲み取り、それが正確に伝わるように講師の方とは直接お会いして信頼関係を築きながら進めることを心がけました。また、授業が終わった後に先生と振り返りの時間があることで、一緒により良い授業を作っていけるように思えます。



水永

社会人にとっては以前の私自身も含めて学校で話をするハードルはとても高いです。そこでハードルを下げるために、難しい話ではなく、「働く喜びと苦勞」を失敗談も交えてお話し下さいとお願いしています。

また、産業界では人手不足が深刻化し、早期離職も増えていて、産業人財の育成は切実な課題になっています。採用してからでは遅すぎる、小中学校の時から子供たちに「この地域で働き・暮らす魅力と課題」を伝えていく必要がある、と考へ行動される経営者が間違いなく増えています。その意味では、「社会に開かれた教育課程」を実現しようとされている先生方のニーズと、産業界のニーズとが一致してきているわけで、地域(企業)と学校が「協働」できるチャンスだと思います。

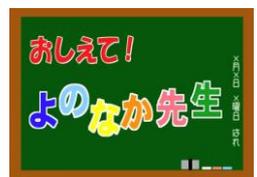
## おしえて!よのなか先生動画の紹介

### 【動画紹介: 医師 嶋田雅暁さん】



嶋田さんは広島県出身で、長崎大学医学部を卒業後、アフリカで寄生虫の研究に取り組み、現在は日向市で内科医として地域医療に貢献されています。アフリカでの経験から、患者さんとはできるだけ時間をとって話をよく聴くことを心掛けている、と語られています。

「何のために勉強するのか?」わからない時期があってもいい。人には「ただ黙ってがんばる時期」が必ずある。...ご自身の挫折体験を織り交ぜながらとても深いメッセージをおくられています。



嶋田さんの動画はこちらから!

### 宮崎県キャリア教育支援センター

〒880-0835 宮崎市阿波岐原町前浜4276番地729(宮崎県教育研修センター内)

電話番号:0985-24-3156 FAX番号:0985-24-3578

WEBサイト:<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/ssc058/>

相談や依頼はこちらのQRコードから出来ます!

